

## エクスカージョン

9:00～	ホテルニューオータニ鳥取 出発
9:10～	旧吉田医院
10:00	鳥取民藝美術館
10:20～	砂の美術館(ガイド付き) 鳥取砂丘ビジターセンター
11:20	展望台(タカハマカフェ:隈研吾氏設計)
11:40～	吉川経家像 鳥取藩32万石「大手門」「擬宝珠橋」
12:30	国指定史跡 日本百名城鳥取城跡(ガイド付)
12:30～	昼食「カフェ・ダール・ミュゼ」 <a href="https://www.tottori-musee.jp">https://www.tottori-musee.jp</a>
13:30	～鳥取薬膳料理と地酒(又はノンアル薬膳酒)を解説付きで～
14:00～	鳥取空港到着
14:30～	鳥取駅到着

### □民藝美術館 <https://www.tottori-guide.jp/tourism/tour/view/17>

鳥取民藝の父、吉田璋也(よしだしょうや)が世界中から集めたコレクションや鳥取でプロデュースしたモダンなど民藝品、約5,000点を収蔵している美術館。

吉田は耳鼻咽喉科医として働きながら、黒と緑の染め分けが美しい牛ノ戸焼(陶器)をはじめ、木工・金工・竹工・染織・和紙など、さまざまな分野の職人を育ててきました。

庶民へ民藝品の美を広めるだけでなく、鳥取の職人たちへ美の基準を示すための教育の場として、この美術館を建てました。土蔵のような外観と細部までこだわって設計した障子などの館内装飾も見どころです。



### □砂の美術館 <http://www.sand-museum.jp/>

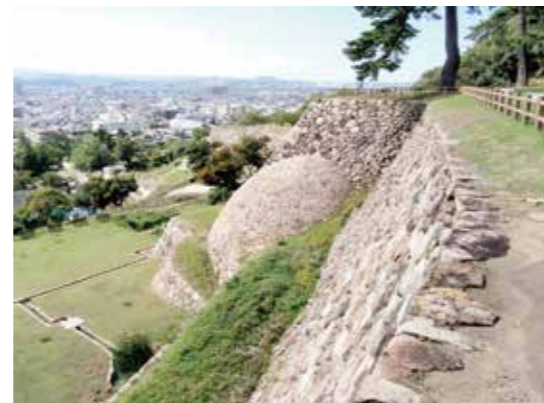
「砂で世界旅行」を基本コンセプトに掲げ、毎年テーマを変えて展示を行っています。第14期展示テーマは「砂で世界旅行・エジプト編」を開催し、会期が終われば、砂像はもとの砂にかえていきます。限られた期間しか存在することができない砂像。その儚くも美しい造形を創り上げる為に、砂像彫刻家は情熱を注ぎ込みます。永遠に残らないがゆえの美しさが、砂像のもつ大きな魅力です。そんな砂像の持つストーリーを感じながらご覧いただきますと、よりその魅力をお楽しみいただけるものと思います。



### □国指定史跡 日本百名城 鳥取城跡

世界ジオパークに認定される山陰海岸ジオパークのジオスポット・鳥取城跡(久松山)。大地が育んだ急峻な地形を持つ山は、戦国時代の山城を起源にした城跡です。防御性の高さや、山頂からの優れた眺めから、「日本にかくれなき名山」と評され、織田信長は「堅固な名城」と評しました。

鳥取城は、歴史的に著明な羽柴(後の豊臣)秀吉の兵糧攻めの舞台になり、江戸時代には国内十二番目の石高を誇った鳥取藩三十二万石の居城となりました。その歴史の長さから、中世から近世に至る多様な城の姿をしています。それ故に、鳥取城跡とその周辺は、日本城郭の歴史を物語る「城郭の博物館」と呼ばれています。



天球丸巻石垣

## 第13回

# 日本海沿岸地域経済同友会 代表幹事サミット

**日時** 令和4年11月24日(木) 15:30～20:45

**場所** [懇談会場]鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)  
[懇親会場]ホテルニューオータニ鳥取



# 日本海沿岸地域の活性化を鳥取県から考える

## 開催趣旨

「日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット」は、日本海沿岸地域の経済・文化交流推進を目的に第1回富山大会を皮切りに今回で第13回となり、コロナ禍の影響で2年延期しての開催となります。

地方創生と叫ばれて久しくなりますが、地域間格差は一向に解消しておりません。

またコロナ禍による経済・社会活動の停滞、ロシアのウクライナ侵襲による世界の分断・緊張の高まり、円安進行等、直近で国内外の情勢は大きく変化しております。

こうした中、太古からの交流で多様な文化を育んできた日本海沿岸地域は、もう一度その歴史を踏まえ、いかにして交流を促進し、発展していくかを考える時期にあります。

鳥取県は人口最少県ですが、かつての鳥取藩は32万石と全国第13位の石高を誇った地域であります。

本サミットでは、インフラ整備の遅れから地位が低下してきた日本海沿岸地域が一体となって発展していくために必要な日本海国土軸をはじめ国土計画について、建設業技術者センターの谷口理事長から、そして変貌する北東アジア地域情勢の中での日本海沿岸地域の進むべき方向性について、石破衆議院議員からお話を頂きます。更に鳥取県経済同友会の活動内容について事例発表を行います。

そして、懇親会と翌日のエクスカージョンでは鳥取の食と文化をご堪能頂きます。

今回のサミットが今後の交流・協力関係の構築を図る場になることを願っております。

## 参加経済同友会

- |          |                  |
|----------|------------------|
| 北海道経済同友会 | 青森経済同友会          |
| 秋田経済同友会  | 山形経済同友会          |
| 新潟経済同友会  | 富山経済同友会          |
| 金沢経済同友会  | 福井経済同友会          |
| 京都経済同友会  | 神戸経済同友会          |
| 鳥根経済同友会  | 福岡経済同友会          |
| 沖縄経済同友会  | 鳥取県経済同友会<br>(主管) |

※以上、14道府県の経済同友会

## 懇談会場および懇親会場 案内図



懇談会場～懇親会場(徒歩8分)

## プログラム

懇談会場 / 鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)

14:30～	受付開始
15:30～	開会 開会挨拶 鳥取県経済同友会 代表幹事 米原 正明
15:40～16:30	<b>基調講演</b> 日本海国土軸の今とこれから～ビッグピクチャーの下、アクションを～ (一財)建設業技術者センター 理事長 谷口 博昭 氏 (前(第109代)土木学会会長、芝浦工業大学客員教授)
16:30～	休憩
16:50～17:40	<b>特別講演</b> 「これからの日本海沿岸地域の活性化」(仮) 衆議院議員 石破 茂 氏 (日本海沿岸地域振興促進議員連盟 副会長)
17:40～18:10	<b>事例発表</b> 「山陰地方におけるインバウンド観光」 鳥取県経済同友会 観光戦略委員長 秦野 博行
18:10～	閉会挨拶 鳥取県経済同友会 副代表幹事 廣田 和幸
会場移動 懇親会場 / ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」	
スライドショー <b>写真提供</b> 柄木 孝志 氏 (株)LANDSCAPE DESIGN 代表取締役 写真家 / 地域活性プロデューサー	
18:40～	交流レセプション オープニングアトラクション 日本遺産 麒麟獅子舞 開会挨拶 鳥取県経済同友会 代表幹事 松村 順史 歓迎挨拶 鳥取市長 深澤 義彦 氏 来賓挨拶 鳥取県知事 平井 伸治 氏 乾杯挨拶 鳥取県経済同友会 副代表幹事 小谷 治郎平
20:35～	次回開催地挨拶 (一社)金沢経済同友会
20:40～	閉会挨拶 鳥取県経済同友会 実行委員長 井上 法雄
20:45	閉会

## 基調講演



(一財)建設業技術者センター  
理事長  
谷口 博昭氏

芝浦工業大学客員教授、  
前土木学会会長、  
元国土交通省事務次官

### profile

- 昭和47年 4月 東京大学工学部(土木)卒、  
同5月建設省採用、茨城県出向
- 平成 7年11月 国土庁計画・調整局調整課長
- 11年 7月 建設省道路局企画課長
- 14年 7月 国土交通省近畿地方整備局長
- 16年 7月 国土交通省道路局長
- 18年 7月 国土交通省技監
- 21年 7月 国土交通事務次官(22年8月退)
- 23年 1月 芝浦工業大学専門職大学院教授  
(25年4月から客員教授)
- 25年 6月 (一財)国土技術研究センター理事長  
(令和元年6月退)
- 26年 5月 (一社)全国土木施工管理技士会連合会長  
(令和2年5月退)
- 28年 6月 (公社)日本道路協会会長(30年6月退)
- 29年 6月 (一社)日本トンネル技術協会会長  
(令和3年6月退)
- 令和 元年 6月 (一財)建設業技術者センター理事長
- 3年 6月 第109代土木学会会長(4年6月退)

## 特別講演



衆議院議員  
石破 茂氏

日本海沿岸地域振興促進議員連盟  
副会長

### profile

- 昭和54年 慶應義塾大学法学部卒業
- 54年 (株)三井銀行 入行
- 58年 (株)三井銀行 退社
- 61年 衆議院議員 当選
- 平成14年 防衛庁長官
- 19年 防衛大臣
- 20年 農林水産大臣
- 21年 自由民主党 政務調査会長
- 24年 自由民主党 幹事長
- 26年 国務大臣 地方創生・国家戦略  
特別区域担当(28年8月)



三徳山



大山